ドラム缶反転吊り具　ギアボックス付
取扱説明書

【品番】DHR-17

この度は、KIKAIYA「ドラム缶反転吊り具　ギアボックス付」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

＊本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付し ご使ください。

＊本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。

コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415－3

(MAIL) info@kikaiya.com

■はじめに

- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
  付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があり、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
- 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■安全に関する表示について

危険	取り扱いを誤った場合、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定され、その危険性が高い内容』のご注意
警告	誤った方法で使用すると、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容』のご注意
注意	誤った方法で使用すると『使用者が傷害を負うまたは物的損害を負う危険が想定される内容』のご注意

■注意事項

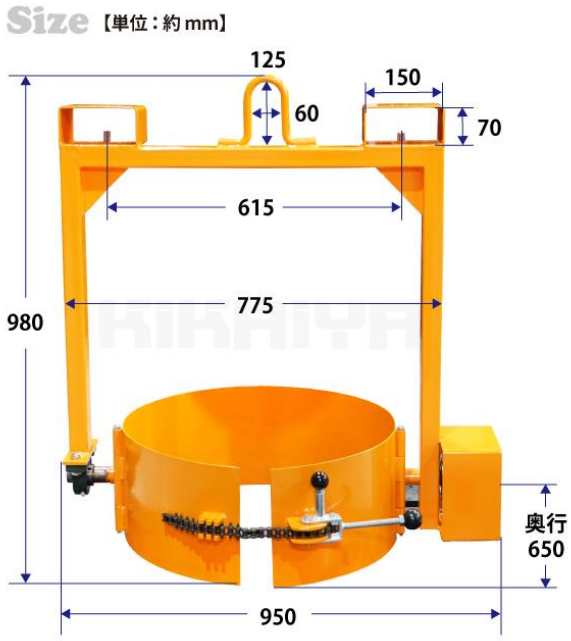
警告

- 製品の使い方をよく理解してご使用ください。
- 重大な損傷を負う可能性がありますので、常に周囲の安全を確認してください。
- 素手で鋭利な箇所に触ると怪我をする恐れがあります。
- 作業に適した服装（作業服・安全靴・手袋・保護メガネ等）でご使用ください。
- 能力以上の荷重をかけないでください。
- ご使用前には各部に異常がないか目視点検を実施し、異常がある場合は使用中止してください。
- 持ち上げた時にドラム缶の下に入らないでください。
- ドラム缶をしっかりと挟んで安全が確認できてからドラム缶を上昇/回転させてください。
- お子様が手を触れない場所で使用・保管してください。

■仕様

本体重量	42kg
許容荷重	400kg
実使用荷重	240kg
本体材質	スチール
対応ドラム	200L ドラム缶（スチール・樹脂）

※オープン樹脂ドラムはご使用頂けません



- ドラム缶を吊り上げて、360 度回転したり、
  自由な角度に傾けて止めることができる反転ハンガーです。
- アルミ製のギアボックス付きなので、
  ハンドルを回すだけで動作が楽に行えます。
  （ハンドル 25 回転で約 90 度回転します）
- ウォームギヤを使用しているので、
  ハンドルから手を離すと停止し、角度を保持します。
- ギアボックスはオイル封入式なのでメンテナンスフリーです。
- ホイストやクレーン、フォークリフトの爪に装着する事ができます。
- 固定ハンドルの操作でドラム缶を素早く締め付けてしっかりと固定します。

■ハンドル取り付け方法

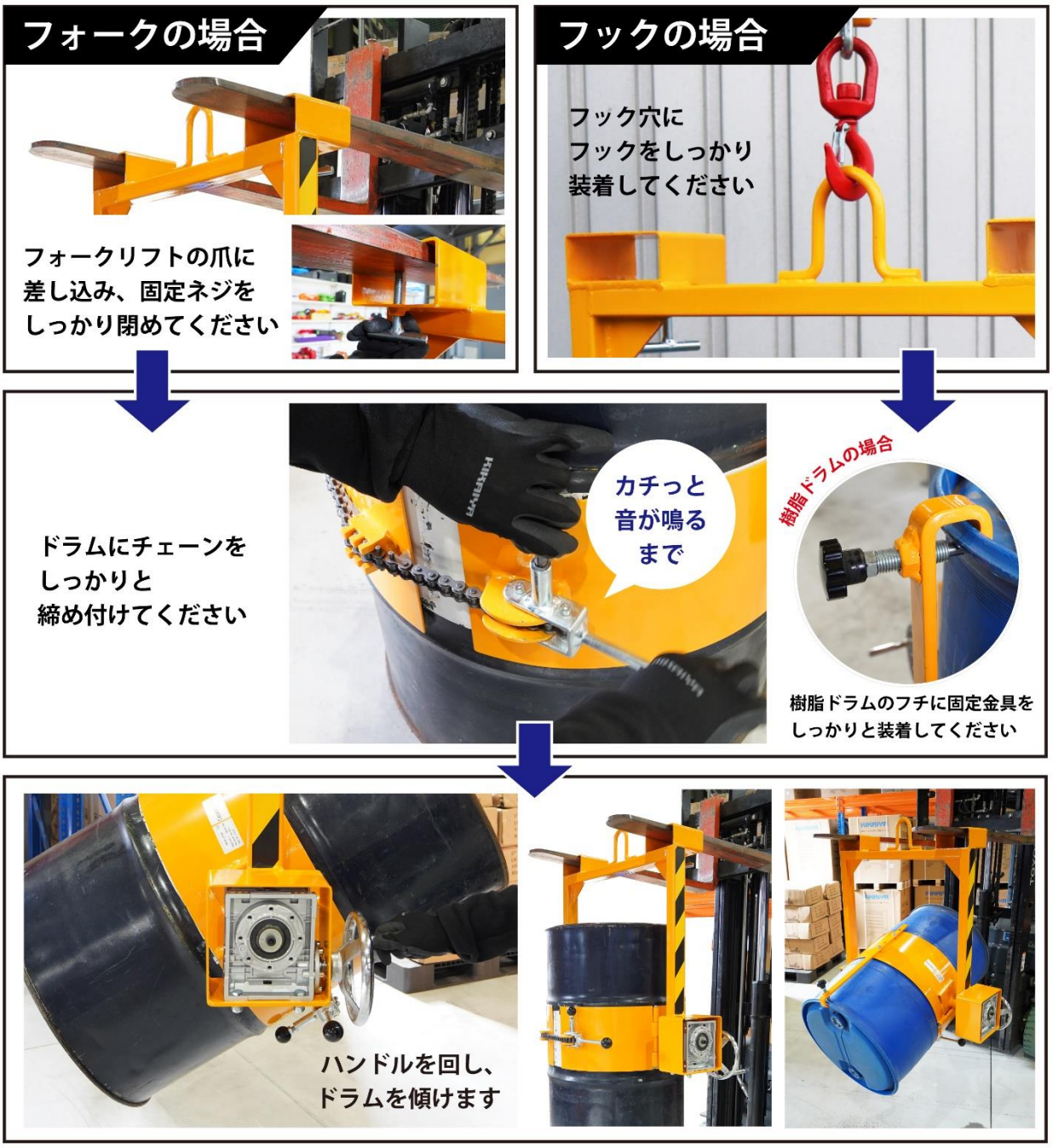
①ハンドル軸のネジとワッシャーと外す

②ハンドル軸の凸に合わせてハンドルを入れる

③ワッシャーを戻し、ネジを締める

④ハンドルに持ち手を付ける

■使用方法



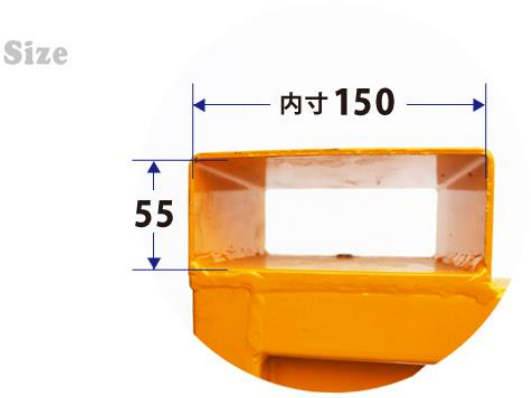
■メンテナンス

- ✓ 定期的に可動部にグリスアップをしてください。
- ✓ ご使用前には取り付けネジなどに緩みがないか点検してください。
- ✓ ドラム缶を挟む部分に異常がないか点検してください。異常がある場合はすぐに使用を中止してください。
- ✓ 全ての取り付けネジ・ボルトなどの緩みなどが無いか注意深く点検してください。

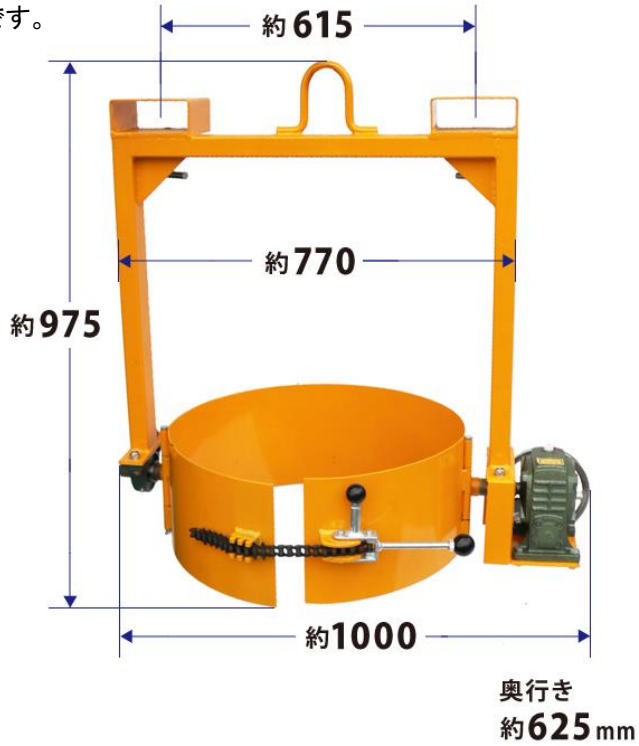
■参考（※2023/12/18 までの仕様）

本体重量	45.5kg
許容荷重	400kg
実使用荷重	240kg
本体材質	スチール
対応ドラム	200L ドラム缶（スチール・樹脂）

※オープン樹脂ドラムはご使用頂けません



- ドラム缶を吊り上げて、360 度回転したり、
  自由な角度に傾けて止めることができる反転ハンガーです。
- ギアボックス付きなので、
  ハンドルを回すだけで動作が楽に行えます。
  （ハンドル 15 回転で約 90 度回転します）



〈メンテナンス〉

- ✓ 定期的に可動部にグリスアップをしてください。
- ✓ ご使用前には取り付けネジなどに緩みがないか点検してください。
- ✓ ドラム缶を挟む部分に異常がないか点検してください。異常がある場合はすぐに使用を中止してください。
- ✓ 全ての取り付けネジ・ボルトなどの緩みなどが無いか注意深く点検してください。
- ✓ 適時（1年に1回程度）ギアボックス内のオイル量を確認し、少ない場合は補充してください。
  （オイルゲージはございませんので補充穴より目視確認をしてください）
  （補充オイル＝ギアオイル/約 6 割程度が目安です）

この部分のネジを外し目視確認
にてオイル量を確認できます。
少ない場合は補充してください。